



3学期も安全・安心な給食作りを給食室スタッフ一同、心がけてまいります。本年もよろしくお願いいたします。1月は寒さも厳しく、体調も崩しやすい月です。生活リズムを少しずつ整えるためにも、あたたかい朝ごはんをしっかりと食べて、一日を元気に過ごせるようにしていきましょう。



1月24日～1月30日は全国学校給食週間です!!



☆給食のはじまり☆

明治22年山形県の小学校で、お弁当をもってこられない子どもたちのために昼食を出したのが、学校給食のはじまりであるといわれています。

その後、子どもたちの栄養状態の改善などを目的に学校給食が奨励されましたが、戦争が始まり給食は一時中止になりました。昭和21年12月24日、栄養不足の子どもたちを救うため、世界各国からの援助をもとに再開されました。これを記念し1ヶ月後の1月24日を給食記念日としています。(12月24日は学校が長期休みに入ることが多いため、1ヶ月後が記念日となっています。) 食べる事は私たちの生きる力の源となり、心と体の健康を育むものです。学校給食の歴史を振り返り、“食べる事”について改めて考えてみましょう。

学校給食の歴史

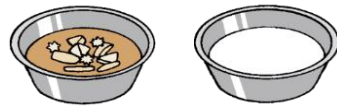


明治 22 年



おにぎり 塩ざけ 菜の漬物

昭和 20 年



ミルク(脱脂粉乳) みそ汁

昭和 52 年



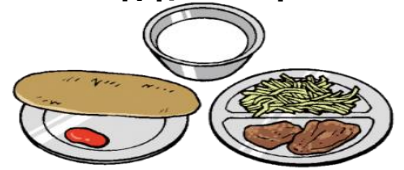
カレーライス 牛乳 塩もみ
果物(バナナ) スープ

昭和 40 年



ソフトめんのカレーあんかけ 牛乳
甘酢あえ 果物(黄桃) チーズ

昭和 27 年



コップパン ミルク(脱脂粉乳)
鯨肉の竜田揚げ せんキャブツ

給食はおいしく食べられる生きた教材です!

学校給食では、決められた栄養価や予算の中で、食品の産地や栄養的な特徴を学んだり、教科で学んだ事に関連した食品や料理を食べて、学習内容を確認したりすることができるよう工夫しています。また、毎月19日の食育の日には毎年テーマに沿った給食を実施し、子どもたちの食に対する関心が高まる工夫をしています。ぜひ、献立表や給食だよりをご家庭での“食育”に活かしていただけましたら幸いです。





鏡開きで健康を祈る

鏡開きとは、お正月にお供えした鏡もちを松の内（1月7日）が過ぎた1月11日にみんなで食べて健康をお祈りする行事といわれています。地域によっては松の内が1月15日までというところがあり、そうした地方では、鏡開きは15日か20日に行われます。

「開く」というのは、「切る・割る」という意味です。鏡もちは、年神様へお供えした神聖なものなので、刃物で切るのではなく、木づちや手などで小さく割ります。

鏡もちには様々な食べ方がありますが、お雑煮やお汁粉にすることがよいといわれています。お汁粉に使う小豆の赤色は、魔除けの力があると信じられていました。

小豆をたっぷり使ったお汁粉に鏡もちを入れていただくことで、年神様のパワーと魔除けの力を同時に授かろうと考えられました。

また、昔は「お年玉」はお金ではなく「お餅」だったそうですよ。今年も1年健康にすごせるよう鏡もちをいただきましょう。



3学期の給食は

1月12日（木）開始です。

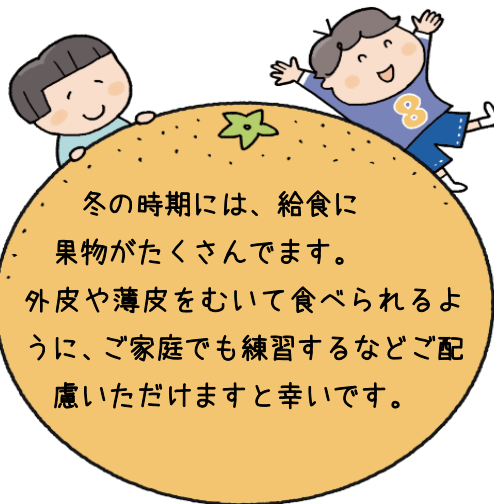
いつも白衣や帽子の洗濯を
ありがとうございます



冬に多い ノロウイルス

ノロウイルスによる食中毒は冬に多発し、おう吐や下痢などの症状があります。

感染者によって直接または間接的に汚染された食品や、加熱不十分な食品を食べることで感染します。しっかりと手洗いを行って予防しましょう。



冬の時期には、給食に果物がたくさんです。外皮や薄皮をむいて食べられるように、ご家庭でも練習するなどご配慮いただけますと幸いです。



毎月19日は
食育の日

19

今年度の食育の日のテーマは

「映画にでてくる料理」です！

1月は、「アンパンマン」をイメージした給食が登場します！お楽しみに♪



おしらせ



1月分の引き落としは、1月5日（木）に行いました。

引き落としが出来なかったご家庭には、集金袋をお渡ししますので、おつりのないように現金をいれてください。